

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・本校の強みである校内研究は、「生徒が主体的・協動的に取り組む道徳科の授業を通して」をテーマに、昨年度取り組んだ「学び合い活動」に加え、「発問」「板書」「評価」という視点からも授業改善を試み、全ての職員による授業実践と授業公開ができた。</p> <p>・この研究を通して、91.8%の生徒が道徳の授業は自分の生活の役に立っていると答えており、生徒の道徳性を高めたいと考え、道徳科の学びを日常生活と関連付けられるような指導を心掛けてきたことが成果として表れたものと思われる。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>心豊かにたくましく生きる生徒の育成</p> <p>～自ら考え、主体的に判断し行動する中学校生活を通して～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 社会で活用できる（通用する）基礎学力学力向上のための一人一人の学びを大切に学習環境づくり、② 安心・安全を最優先した教育環境づくり、③ 道徳教育の充実による豊かな心と社会性の育成、④ 開発的な生徒指導の展開（「生徒指導の3機能」を基にして）、⑤ 全教職員によるフォローシップと創意的で効率的な学校経営の展開（「働き方」改革へ）</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者		
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	学校関係者評価 意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上を目指す。	・学力調査の分析と課題解決のための洗い出し。 ・「上中授業スタイル」の共通実践 ①めあての提示、②見通し、③学び合い活動、④まとめ、⑤ふり返り ・学習規範の指導徹底 ①2分前着席、②元気に挨拶、③元気に返事、④注目傾聴							
	○新型コロナウイルス感染症拡大に備え、臨時休業、分散登校対応に家庭学習や補充学習の充実を図る。	○生徒や保護者対象の学校評価(外部アンケート)で、「家庭学習の習慣が身につけている」の項目で、生徒90%以上、保護者80%以上を目指す。	・予習を意識した家庭学習の課題づくりの工夫研究。 ・生徒会図書委員会との連携による図書館利用の充実。 ・「すくすくテスト」や「学習クラスマッチ」、佐賀大学と連携した長期休業中の補充学習等の推進。							
●心の教育	●「心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を目指した特別の教科「道徳」を通し校内研究の充実研究テーマ「生徒の成長を見取る道徳科の授業を目指して」	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒95%以上を目指す。 ○「校内研究の成果と課題」における職員アンケートの自己評価(4段階)において、平均値3.5以上を目指す。	・道徳全体計画と年間指導計画、教科との関連(別業)の提示 ・道徳科の7つの授業実践 ①価値に迫る発問の工夫、②多様な価値観に触れる学び合い活動の工夫、③深めた価値が残る板書、④評価の視点の提示、⑤TT授業、⑥年間3回の授業研究会、⑦教材及び授業のデータ管理							
	●◎人権尊重の視点に立った学校づくりを目指す。 ・いじめ防止対策 ・人権・同和教育 ・開発的生徒指導	○生徒や保護者対象の学校評価(外部アンケート)で、「いじめに関する項目」で、生徒、保護者95%以上を目指す。 ○生徒会活動において、生徒の参画意識80%以上を目指す。	・道徳や特別活動において計画的に教材化を図る。 ・教育相談部とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を密にする。 ・インターネット上のいじめに対応するために情報モラルの教育を計画的に行い、いじめ防止に努める。 ・生徒会を主体的に活動させた開発的生徒指導の具体的な取組を示す。							
●健康・体づくり	●安全教育の徹底と危機回避能力の育成 ・生活事故、交通事故の防止対策 ・自然災害等の防災教育	●児童生徒の生活事故や交通事故発生時の現場検証を徹底し、再発ゼロを目指す。 ●危機事象が発生したときの緊急連絡・報告の徹底(ノーマス)を目指す。	・生活事故や交通事故における現場における事故検証を行い、職員へ注意喚起する。 ・交通教室や防犯教室、避難訓練の実施、各施設の安全管理点検及び補修。 ・学校内外の危険箇所マップの活用、緊急メールによる情報の速やかな発信。 ・立ち番指導による生徒の登下校時の安全確保を行う。							
	○新型コロナ感染予防に向けた共通実践	○本校生徒及び職員から感染者、クラスターを発生させない。	・感染予防策を通知やマチコミで注意喚起を促し、オンラインでの学習や健康促進に向けた過ごし方を情報配信する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・出勤時間をデータ管理し、時間外勤務状況を職員へ知らせ、時間外超過の職員に対し、学年や校務分掌の偏りをなくせるようフォローシップ機能を図る。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	学校関係者評価 意見や提言
○新型コロナ感染予防における臨時休業、分散登校中場合の学習保障を目指す	○町教委と小学校との連携でオンラインミーティングの体制づくり	○すべての生徒にオンライン体制の整備を整える。	・ZOOMにおけるオンライン環境の整備。 ・各家庭のオンライン環境をアンケートで把握し、不足のないよう教育委員会とイニシアチブをとる。 ・配信内容の工夫・研究に努め、学習保障の手立てを講じる。							
特別支援教育	○生徒個々の特性に応じた指導の実践	○特別支援教育について、校内研修会に積極的に参加し、特性に応じた指導に取り組んだと回答した割合を100%にする。	・特別支援教育に関する校内研修会を開催する。 ・教職員間で情報交換を行い、個々の生徒の特性に応じた実践指導を行う。							

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p>
----------------	-------------------------------